

## 様式 1

### 令和 5 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

#### 1 研究課題名

豊かな運動経験を実現する学校向け運動プログラムの開発とその効果の検証

#### 2 研究代表者

岩見沢校・教授・奥田知靖

#### 3 研究分担者・研究協力者

研究分担者：

志手典之

山本理人

森田憲輝

安部久貴

小倉晃布

小林育斗

#### 4 令和 5 年度研究計画の達成度

(以下の項目□に1つチェック☑を入れてください。)

a 計画とおり達成した

b 概ね達成した

c あまり達成できなかった

d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

#### 5 学術的成果

【論文投稿】

データ収集に時間を費やし、未実施

【書籍出版】

データ収集に時間を費やし、未実施

### 【学会発表】

データ収集に時間を費やし，未実施

### 【その他】

データ収集に時間を費やし，未実施

## 6 実践的成果

### 【教材】

・打撃遊び専用のスポンジ教材

### 【評価方法】

- ・簡易な運動能力評価プログラムを作成
  - ・本研究独自の CAPS 体力測定フィードバック用紙を作成
- 用紙例：

<https://drive.google.com/file/d/1Z9evLqgTeEWOay7eZQTWWKt53GY0fjFN/view?usp=sharing>

### 【指導（授業）案】

なし

### 【教育方法】

- ・体育館内でできる玉入れボールを使用した「水切り」投動による投能力向上運動プログラム（効果検証中）
- ・球技の状況判断能力向上のためのパス鬼ごっこ（効果検証中）
- ・打撃遊びによる投能力促進運動プログラム（一部学士論文にて発表）
- ・社会的スキル向上のための集団運動遊び（効果検証中，一部学士論文にて発表）

### 【その他】

#### 体力・運動能力測定イベント

- ・2023年6月17日（土）と2024年1月27日（土）に岩見沢市内の小学生（1年～3年）を対象に地域スポーツ教室を実施し，体力・運動能力の評価およびフィードバックをおこなった。

参加者：6月17日（土）→109名，1月27日（土）→33名

フィードバックシート例

<https://drive.google.com/file/d/1yo7WnHYNlgZpQ4mYVy7NVgY5r1GooQeO/view?usp=sharing>

- ・2023年7月30日（日）CAPS 体力測定イベント実施  
岩見沢市内の幼児および小学生 23 名が参加し、本プロジェクトで作成した体力測定を行った。

#### セミナー・研修会

- ・2023年6月21日（水）・7月19日（水）・8月23日（水）19：15-20：45  
本研究プロジェクトによる指導者養成講習会を実施した（第1期 CAPS 指導者養成講習会）。参加者は19名であった。
- ・2023年11月15日（水）・12月20日（水）・2月4日（水）19：15-20：45  
本研究プロジェクトによる指導者養成講習会を実施した（第2期 CAPS 指導者養成講習会）。参加者は8名であった。
- ・2023年6月26日（月）18：30-19：30  
本研究プロジェクトの理念である「子どもにおける豊かな運動経験の実現に向けて」をテーマに、岩見沢市中央ブロックの小・中学校関係者に向けて研修会を実施した。
- ・2023年8月16日（水）15：00-16：00  
本研究の介入校となっている岩見沢市立南小学校の教員向けに、本研究で実施する運動プログラムの理念および運動内容について、研修を実施した。
- ・2023年11月18日（土）15：00-16：00  
岩見沢市スポーツ少年団において、本研究で実施する運動プログラムの重要性について、研修を実施した。

◆上記の学術的・実践的成果のうち、ホームページ等で公開できる資料がありましたら、メール添付又は学内便で送付してください。

◆ホームページのポンチを更新するときは、新しいポンチ絵（パワーポイント）をメールで送信してください。

◆プロジェクトで報告する学術的・実践的成果は幅広く捉えて記入してください。

#### 7 その他、研究実施状況

## 目的 1：小学校における運動プログラム介入調査

### 1) 基礎的運動能力の調査

- ・2023年6月19日(月)・7月5日(水)・7月6日(木)

岩見沢市立南小学校(1年~6年)の児童を対象に、新体力テストの測定をおこない基礎的運動能力のデータ収集を行った。

- ・2023年7月13日(木)・10月2日(月)

中央小学校(3年~6年)の児童を対象に、新体力テストの測定をおこない基礎的運動能力のデータ収集を行った。

### 2) 介入調査

#### Pre テスト

2年~5年の児童を対象に、体力・運動能力のPreテストとして、ボール初速度、Nチャレンジテスト、立ち幅跳び、身長・体重、ボール運動テストを実施した。

- ・統制群(中央小学校) 2023年9月7日(木)・9月8日(金)
- ・介入群(南小学校) 2023年9月20日(水)・9月21日(木)・9月22日(金)

Preアンケート調査として、両群ともに①創造的態度尺度、②社会的スキル尺度、③体育愛好度尺度を実施した(2023年11月27日~12月22日)

#### Post テスト

4年の児童を対象に、体力・運動能力のPostテストとして、ボール初速度、Nチャレンジテスト、立ち幅跳び、身長・体重、ボール運動テストを実施した

- ・統制群(中央小学校) 2024年2月20日(火)
- ・介入群(南小学校) 2024年2月14日(水)

Postアンケート調査として、両群ともに①創造的態度尺度、②社会的スキル尺度、③体育愛好度尺度を実施した(2024年2月20日~3月5日)

## 目的 2：運動機会の充実における家庭・企業等の支援体制の調査

- ・2024年2月3日(土) イベント参加者に企業の運動支援体制の調査を実施した。

### 目的3) 体力・運動能力の向上と子どもの運動習慣・生活習慣

- ・2023年11月21日(水) 北海道教育大学附属旭川小学校にて、子どもの敏捷性測定(Nチャレンジテスト)を実施した(小学校3年・5年)。
- ・2023年12月19日(火) 北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程にて、子どもの敏捷性測定(Nチャレンジテスト)を実施した小学校3年・4年・5年)。
- ・2024年1月30日(火) 北海道教育大学附属札幌小学校にて、子どもの敏捷性測定(Nチャレンジテスト)を実施した(小学校3年・4年・5年)。
- ・子どもの生活習慣と心理的特性のアンケート調査を2023年12月~2024年2月に実施した。対象校及び学年は、上記の3校に加え、目的1)の2校の3年生・4年生・5年生であった。

本研究プロジェクトにおける概要：

<https://i-campus.hokkyodai.ac.jp/caps-child/point/>

運動評価方法について：

<https://i-campus.hokkyodai.ac.jp/caps-child/support/n-challenge.html>

○今回の実績報告書(内容)は本学のホームページで公開されます。(報告書の体裁は事務で修正することがあります。青字と赤字の斜字体は削除します。)

○ページ数は2ページ以上になっても構いません。枠は適宜拡大してください。